

CASBEE®横浜 | 評価結果 | 7-030



■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_建築版

■バージョン：CASBEE横浜2025年版v1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新石川三丁目マンション新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市青葉区新石川三丁目35番20、21、22、23、26	構造	S造
用途地域	準防火地域、一種住居、一種低層	平均居住人員	84 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年6月16日
敷地面積	1,783 m ²	作成者	積水ハウス(株)園都市シャーマン
建築面積	850 m ²	確認日	2025年6月16日
延床面積	2,477 m ²	確認者	積水ハウス(株)園都市シャーマン



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.9 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	 標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 88% ③上記+②以外の 75% ④上記+ 75% (kg-CO ₂ /年・m ²)	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.7		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.5 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ゆとりのある空間と緑化計画を行い、利便性・居住性の良い住環境を提供し、入居者が快適に過ごすことが出来る設計とした。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 各住戸高断熱アルミ樹脂複合サッシ・LOW-Eガラスを採用しており、外皮断熱等級4以上を満たしている。	Q2 サービス性能 階高2.9mとゆとりのある空間を提供している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑化計画を行っている。
LR1 エネルギー 断熱性能等級5相当以上。 太陽光発電設備を設置し各住戸に送電することにより、一次エネルギー消費量削減に努めている。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 広告物照明の設置等なく、近隣への配慮がされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要		<集合住宅>		受付日 2025年6月30日													
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				建物名称 (仮称)新石川三丁目マンション 新築工事													
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving		重点項目への取組(5点満点)		【省エネルギー性能】	4												
■省エネルギー性能																	
この建物の設計一次エネルギー消費量 35 %削減																	
		<table><thead><tr><th colspan="2">再エネなし</th><th colspan="2">再エネあり</th></tr></thead><tbody><tr><td>削減率</td><td>22%</td><td>削減率</td><td>35%</td></tr><tr><td>BEI値</td><td>0.78</td><td>BEI値</td><td>0.65</td></tr></tbody></table>				再エネなし		再エネあり		削減率	22%	削減率	35%	BEI値	0.78	BEI値	0.65
再エネなし		再エネあり															
削減率	22%	削減率	35%														
BEI値	0.78	BEI値	0.65														
■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用) 断熱性能等級5相当																	
健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community		重点項目への取組(5点満点)		【健康・安心】	4												
■室内環境対策 (⑤外皮性能)																	
◆断熱等性能等級 等級5 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。																	
■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)																	
■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)																	
◆工夫の有無 なし																	
防災への配慮 (R) Resilience		重点項目への取組(5点満点)		【防 災】	3												
■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)																	
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape		重点項目への取組(5点満点)		【地域・まちづくり】	2												
■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)																	
太陽光発電などの導入		環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)															
太陽光利用																	
エネルギーマネジメントシステム導入																	
— — —																	



CASBEE横浜2025年版v1.0

(仮称)新石川三丁目マンション新築工事

バージョン

CASBEE横浜2025年版v1.0

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質				—	—	—	—	2.7
Q1 室内環境				—	0.40	—	—	2.9
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	—
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50	—
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	—
1.2.2 界壁遮音性能				—	—	3.0	0.30	—
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				—	—	3.0	0.20	—
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				—	—	3.0	0.20	—
1.3 吸音				—	—	—	—	—
2 温熱環境				2.2	0.35	3.3	1.00	3.1
2.1 室温制御				2.2	0.50	3.7	0.50	—
2.1.1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63	—
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	5.0	0.38	—
2.1.3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	—	—	—	—
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	3.0	0.20	—
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30	—
3 光・視環境				2.0	0.25	3.0	1.00	2.7
3.1 昼光利用				1.8	0.30	2.0	0.50	—
3.1.1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	1.0	0.50	—
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	—	—	3.0	0.30	—
3.1.3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	—
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.50	—
3.2.1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	4.0	1.00	—
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	—	—	—
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	—	—	—
4 空気質環境				3.0	0.25	2.7	1.00	2.8
4.1 発生源対策				3.0	0.60	3.0	0.63	—
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00	—
4.2 換気				3.0	0.40	2.3	0.38	—
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	—
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	—	—	1.0	0.33	—
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	—
4.3 運用管理				—	—	—	—	—
4.3.1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	—	—	—	—	—
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	—	—	—	—	—
Q2 サービス性能				—	0.30	—	—	2.7
1 機能性				2.2	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	—
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	—	—	—	—
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	—	—	3.0	1.00	—
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	—	—	—
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	—
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	—	—	3.0	0.50	—
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	—	—	—	—	—
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	—
1.3 維持管理				2.5	0.30	—	—	—
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	—	—	—
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	—	—	—
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	—	—	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	—	—	—
2.1.1 耐震性(建物のこわれにくさ)		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	—	—	—
2.1.2 免震・制震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	—	—	—
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	—	—	—
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	—	—	—
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	—	—	—
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	—	—	—
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	—	—	—
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	—	—	—
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	—	—	—
2.4 信頼性				2.2	0.20	—	—	—
2.4.1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	1.0	0.20	—	—	—
2.4.2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	—	—	—
2.4.3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	—	—	—
2.4.4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	—	—	—
2.4.5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	—	—	—
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり				—	—	2.8	0.50	—
3.1.1 階高のゆとり				—	—	4.0	0.60	—
3.1.2 空間の形状・自由さ				—	—	1.0	0.40	—
3.2 荷重のゆとり				—	—	3.0	0.50	—

3.3	設備の更新性			3.0	1.00				
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20				
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30			2.4	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30			2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	1.0	0.50			
	3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR1 エネルギー					0.40				3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20			4.0
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化				4.2	0.50			4.2
	集合住宅以外の評価		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化					
	集合住宅の評価		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.2	1.00			
4	効率的運用				3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価								
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用					
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用					
	集合住宅の評価				3.0	1.00			
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50			
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル					0.30				2.5
1	水資源保護				2.2	0.20			2.2
	1.1	節水			1.0	0.40			
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
	1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00			
	2	雑排水等利用システム導入の有無							
2	非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60			2.4
	2.1	材料使用量の削減			2.0	0.11			
	2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22			
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22			
	2.5	持続可能な森林から産出された木材							
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22			
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20			3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
	3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
	1	消火剤							
	2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			
	3	冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境					0.30				3.2
1	地球温暖化への配慮				3.9	0.33			3.9
2	地域環境への配慮				2.8	0.33			2.8
	2.1	大気汚染防止			3.0	0.25			
	2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
	2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25			
	1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
	2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
	3	交通負荷抑制			2.0	0.25			
	4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25			
3	周辺環境への配慮				3.0	0.33			3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
	1	騒音			3.0	1.00			
	2	振動							
	3	悪臭							
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
	1	風害の抑制			3.0	0.70			
	2	砂塵の抑制							
	3	日照阻害の抑制			3.0	0.30			
	3.3	光害の抑制			3.0	0.20			
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			3.0	0.70			
	2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			
上記以外の重点項目									
<事務所用途>									
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>									
健康と安心									
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-	-	-